

# Zウエイト・ゼットウエイト

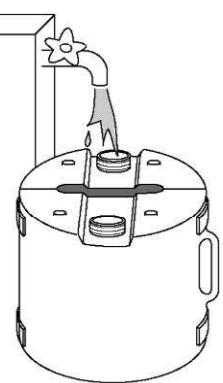
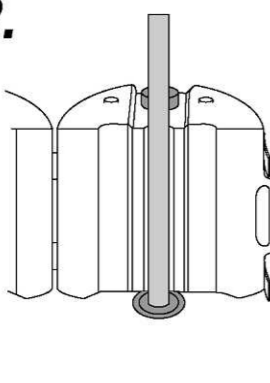
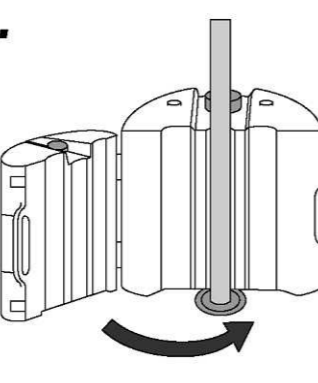
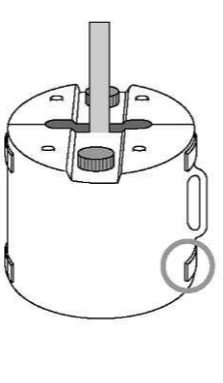
正しくお使い頂く為に・・・

- ☆ 『Zウエイト』は水を入れて使用するタイプの『テント用ウエイト』です。各支柱に使用する事で、安全にテントを御使用頂くことが出来ます。
- ☆ 左右2つの注ぎ口より、それぞれ水を入れて頂くと、1ヶ辺り約10kgの重量となります。
- ☆ 『Zウエイト』は、積み重ねて使用出来ますので、10kgの重量で不十分な場合(強風・突風が予想される時)は、追加して使用する事をお勧めします。
- ☆ 『Zウエイト』は、2台のテントを横並びに連結した状況で使用する事も出来ます。美観も損ねず、安心です。
- ☆ テント支柱の径が40φまで使用可能となっていますので、大型のテントにもお使い頂けます。
- ☆ 『アルミ製パイプテント・ニューパイプZ』をセット購入して頂くと、支柱の本数分のZウエイトが付属となります。各支柱に1つずつ置いて御使用下さい。

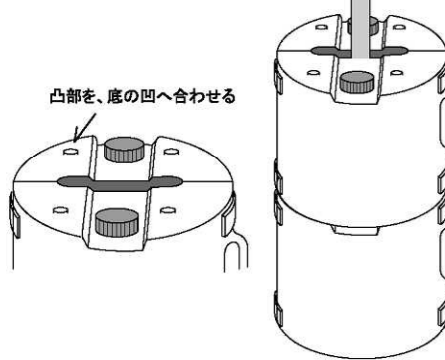
## 取扱注意事項

- ※ 水を入れると、かなりの重量になりますので、落下によるケガ等に十分注意して運搬・使用して下さい。
- ※ ウエイト本体を投げたり、落下させたりすると破損の恐れがあり、危険です。
- ※ ウエイトの上に乗ったり、蹴飛ばしたりしないで下さい。また、ウエイトの上に乗って、テントの組立作業を行わないで下さい。ヘコんだり破損する恐れがあります。
- ※ 使用しない時は、必ず中の水を抜いて保管して下さい。ウエイトの中の水は絶対に飲まない様に注意して下さい。
- ※ ウエイト設置時は、必ずバックルを止めて固定して下さい。強風時にテントの支柱から外れる恐れがあります。
- ※ 強風時には、ウエイトの重量が十分でない場合も想定できますので、使用時には十分に注意して御使用下さい。風速10m/s以上の強風時には、テントを使用しないで下さい。飛ばされたり倒れたりする恐れがあります。

## 使用方法

<p><b>1.</b></p>  <p>上部2カ所のキャップを外し、両側に均等に水を入れます。</p>	<p><b>2.</b></p>  <p>ウエイトを左右に開き、中央の溝に支柱を合わせて配置します。</p>	<p><b>3.</b></p>  <p>支柱を挟み込む様に、片側を動かして、ウエイトを閉じます。支柱が溝からズレ無い様にします。</p>	<p><b>4.</b></p>  <p>バックルを2カ所止めて、完成です。支柱をしっかりとサポートします。</p>
---	---	---	---

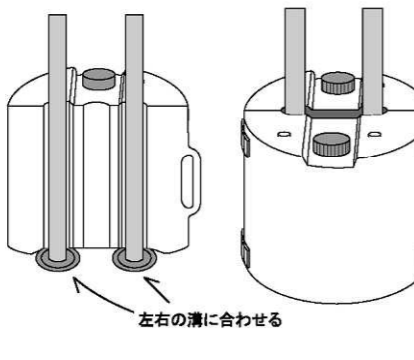
### 【重ねて使用する場合】



凸部を、底の凹へ合わせる

Zウエイトは、重ねて使用する事も可能です。上面の凸部を、底面の凹部へ合わせる事で、ズレずに安全にご使用頂けます。

### 【連結して使用する場合】



左右の溝に合わせる

2台のテントを横並びで使用の際は、ウエイトの3つの溝の内、左右2つを使用します。更に、2つ重ねて使用する事も可能です。

### 《仕様》

- 【材質】 ポリエチレン
- 【容量】 10L (約10kg)
- 【カラー】 ブルー
- 【サイズ】 直径260mm×高さ260mm
- 【対応パイプ径】 40φまで

### 《意匠登録》

登録第1270595号

# パイプテントシリーズ 取扱説明書

new pipe Z / New パイプテント / 伸縮式ウイングテント / 片流れテント / メルヘンテント

はじめに・・・

この度は、弊社パイプテントシリーズをお買い求め頂き、誠に有り難う御座います。ご使用前に、この説明書を良くお読みの上、正しくお使い下さい。また、本書は大切に保管して下さい。製品を末永くご愛用頂きます為に、下記に掲げる注意事項を正しくお守り頂きますようお願い申し上げます。

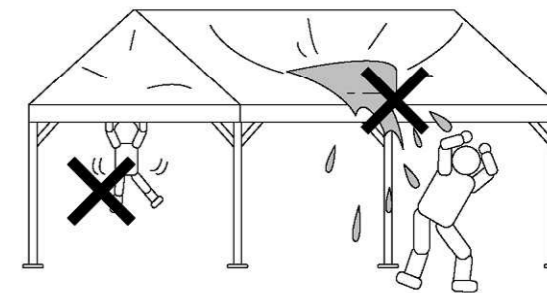
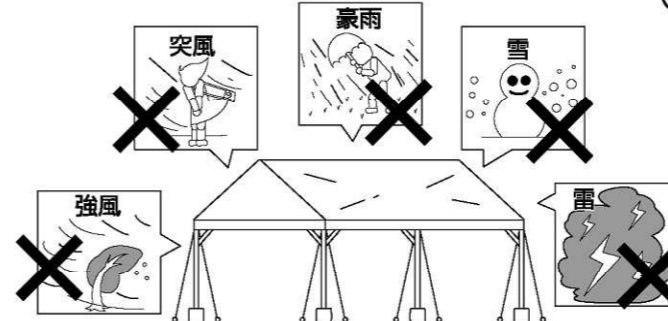
## 正しくお使いいただくために

### 1. 取扱説明

- ☆この集会用テントは、短期間簡易的に使用することを目的に製造されたものです。
- ☆組立設置、解体撤去の際は、安全のためにも手袋をご使用下さい。
- ☆このテントはパイプを使用しています。足元に落としたり、手や指を挟んだりすると大変危険です。取扱には十分ご注意ください。
- ☆組立設置の前に、破損箇所がないかよく確認して下さい。もし破損箇所がある場合は決して使用しないで下さい。
- ☆メーカーの許可なく修理、または改造をしないで下さい。

### 2. 組立設置上の注意事項

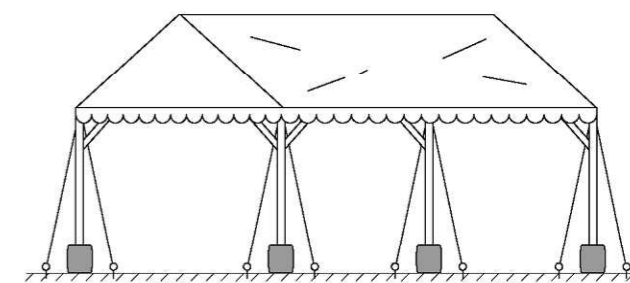
**警告!**



- ① 次の場合は、テントを使用しないで下さい。
  - ※天候不順の時、強風(風速10m/s以上)が予想される時。
  - ※飛ばされたり、倒れたりする恐れがあります。
- ② テントは必ず、電線、火気、炎から離れた場所に設置して下さい。
  - ※感電する危険があります。
  - ※火災の原因となり危険です。
- ③ テントにぶら下がったり、物を吊ったりして、荷重を掛けないで下さい。
  - ※破損・倒壊しケガの原因になり危険です。
- ④ テントに弛みがなく、ピンと張った状態にてご使用下さい。
  - ※テント(天幕)とパイプ(桁)は、しっかりと固定してください。
  - ※多量の水が溜まりますとパイプが曲がり、人や物品に損傷を与える原因となります。
- ⑤ テントを組立てる際には、次の事項を注意して下さい。
  - イ. 周囲から物が落下する恐れのない場所を選んで下さい。
  - ロ. 平らな場所を選び、パイプテントが水平になるように設置して下さい。
  - ハ. テントの組立てには必ず、組立て図の順序に従って下さい。
    - ※効率よく設置ができます。
- 二. 支柱、桁、棟等の折り曲げ部分に指や手を挟まないようご注意ください。

ホ. テントの組立て・解体等の際には周囲の人や器物にご注意下さい。  
ヘ. このパイプテントは一時的に使用するための構造です。常設用に使用しないで下さい。

⑥ 組立が完了後は、必ずテント用ウエイト等を設置し、テント支柱や桁よりロープで支線を取り、地面に打込んだクイ等にしっかりと固定して下さい。

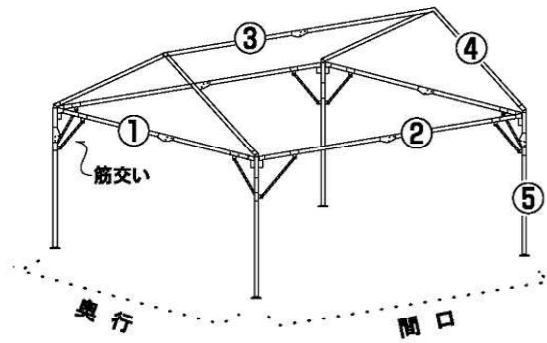


**発売元**

**製造元** ゴトー工業株式会社

本社：埼玉県川口市川口6-9-14  
TEL 048-252-3903 FAX 048-255-7703

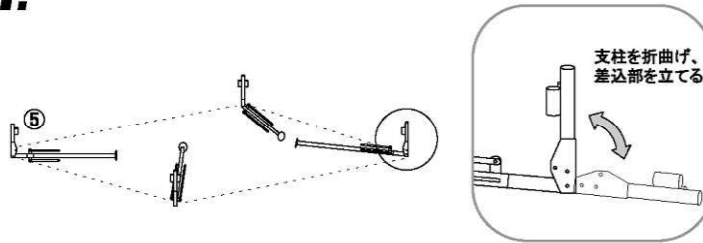
各部の構成と名称 【1間×1.5間 / 1間×2間 / 1.5間×2間 / 他4本支柱】



No.	パーツ名称	入数(本)	パーツ図
①	桁(奥行方向)	2	
②	桁(間口方向)	2	
③	棟	1	
④	流れ	4	
⑤	角支柱	4	

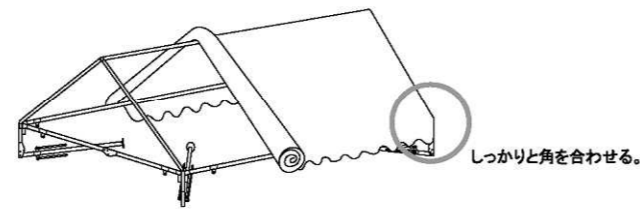
組立手順 【組立作業は、安全の為2人で行ってください。】

1. 支柱の配置



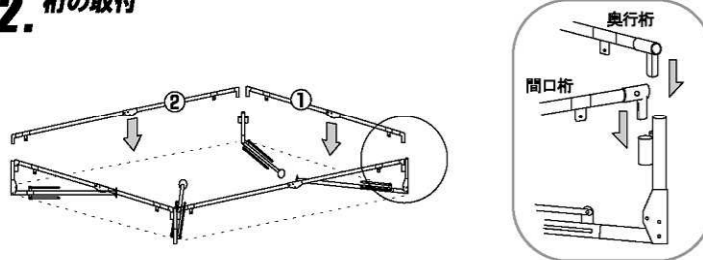
図の位置に角支柱(部品番号⑤)を、それぞれ配置します。この時に、支柱の首を折った状態にしておきます。

5. 天幕を被せる



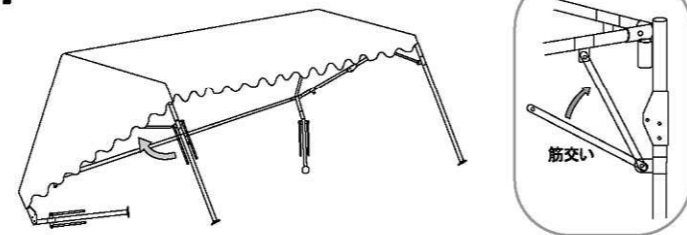
フレームの上に天幕を広げます。この時点では、フレームと天幕は固定せず、四隅の角部分をしっかりと角を合わせます。

2. 桁の取付



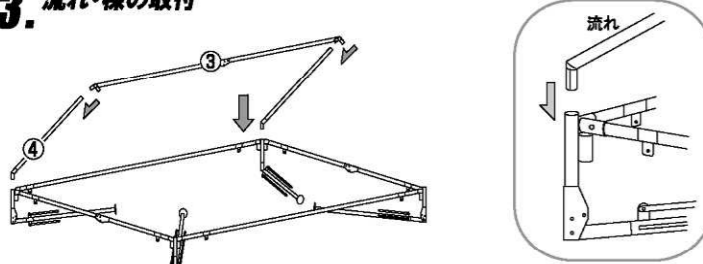
支柱の桁受に、奥行桁(部品番号①)・間口桁(部品番号②)をそれぞれ差込みます。(収納時、桁は半分に折り曲がった状態になっています。)

6. 支柱を起こす(作業は2人で行って下さい)



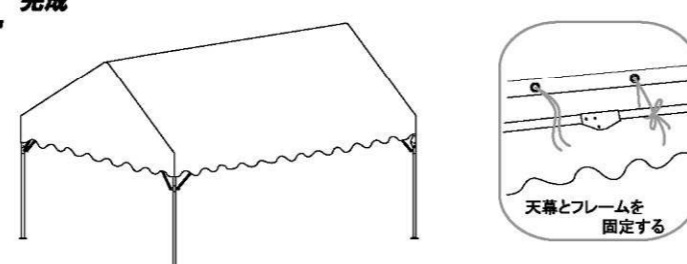
奥行方向の2本支柱を、同時に起こします。その後、筋交いを固定し、(筋交いを固定した側の)天幕をフレームに固定します。

3. 流れ・棟の取付



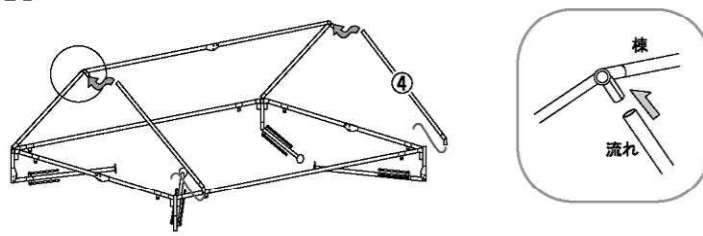
支柱差込口に、流れ(部品番号④)を3本差込みます。その後、棟(部品番号③)を、流れの頂上側へ差込みます。

7. 完成



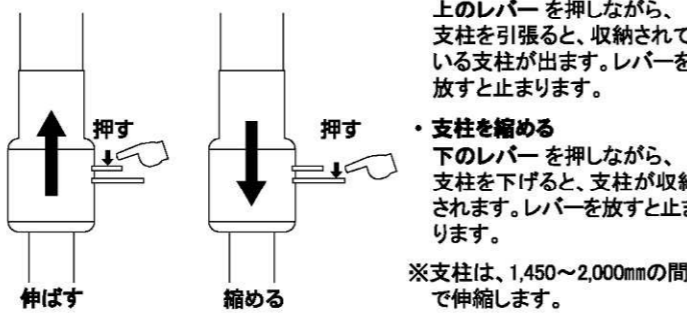
同様に反対の支柱も起こし、筋交いを固定します。天幕にテンションを加え、各支柱が垂直になっている事を確認したら、完成です。

4. 流れ(反対側)の取付



棟の差込口へ、流れ(部品番号④)を差込みます。その後、もう一方を支柱差込口へ差込みます(手順3と同様の方法です)。

【伸縮支柱式・ウイングテントの場合】

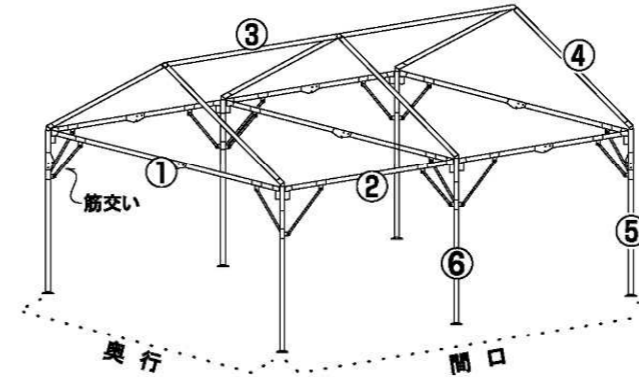


・支柱を伸ばす  
上のレバーを押しながら、支柱を引張ると、収納されている支柱が出ます。レバーを放すと止まります。

・支柱を縮める  
下のレバーを押しながら、支柱を下げると、支柱が収納されます。レバーを放すと止まります。

※支柱は、1,450~2,000mmの間で伸縮します。

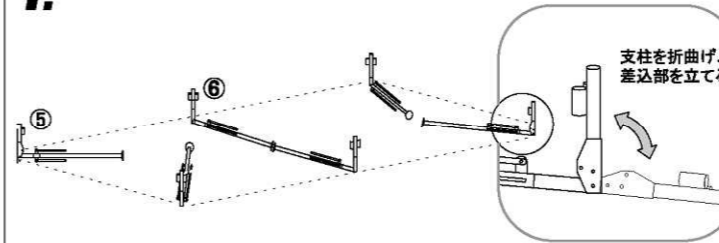
各部の構成と名称 【2間×3間 / 2間×4間 / 他6本支柱】



No.	パーツ名称	入数(本)	パーツ図
①	桁(奥行方向)	3	
②	桁(間口方向)	4	
③	棟	1	
④	流れ	6	
⑤	角支柱	4	
⑥	中支柱	2	

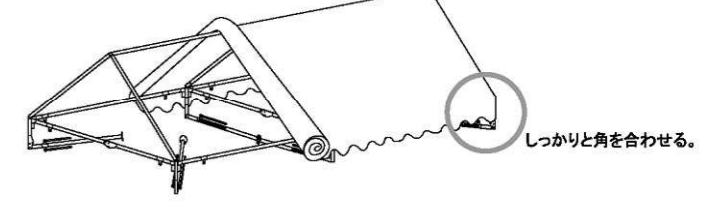
組立手順 【組立作業は、安全の為3人で行ってください。】

1. 支柱の配置



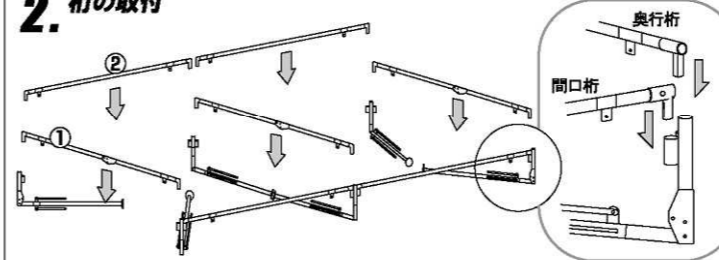
図の位置に角支柱(部品番号⑤)・中支柱(部品番号⑥)をそれぞれ配置します。この時に、支柱の首を折った状態にしておきます。

5. 天幕を被せる



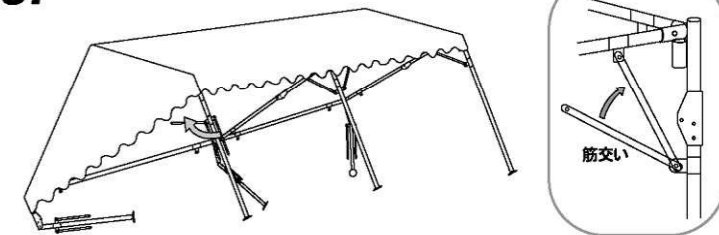
フレームの上に天幕を広げます。この時点では、フレームと天幕はまだ固定せず、四隅の角部分をしっかりと角を合わせます。

2. 桁の取付



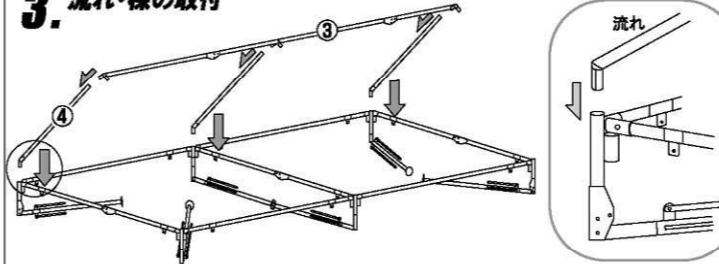
支柱の桁受に、奥行桁(部品番号①)・間口桁(部品番号②)をそれぞれ差込みます。(収納時、桁は半分に折り曲がった状態になっています。)

6. 支柱を起こす(作業は3人で行って下さい)



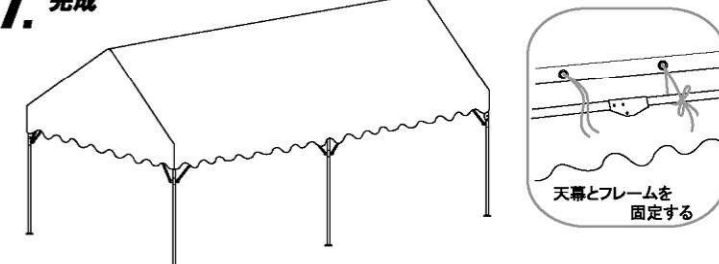
奥行方向の3本支柱を、同時に起こします。その後、筋交いを固定し、(筋交いを固定した側の)天幕をフレームに固定します。

3. 流れ・棟の取付



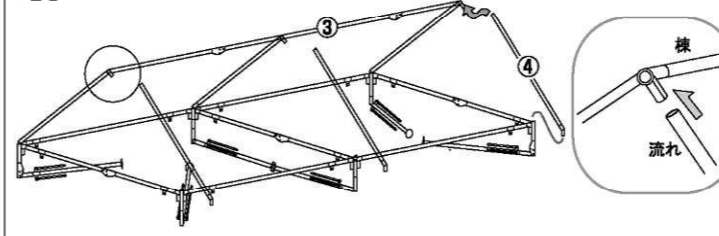
支柱差込口に、流れ(部品番号④)を3本差込みます。その後、棟(部品番号③)を、流れの頂上側へ差込みます。

7. 完成



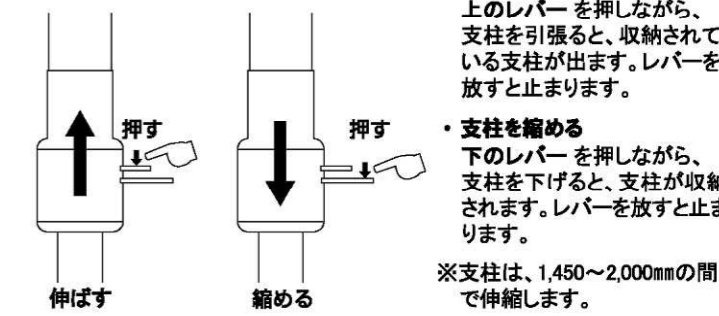
同様に反対の支柱も起こし、筋交いを固定します。天幕にテンションを加え、各支柱が垂直になっている事を確認したら、完成です。

4. 流れ(反対側)の取付



棟の差込口へ、流れ(部品番号④)を差込みます。その後、もう一方を支柱差込口へ差込みます(手順3と同様の方法です)。

【伸縮支柱式・ウイングテントの場合】



・支柱を伸ばす  
上のレバーを押しながら、支柱を引張ると、収納されている支柱が出ます。レバーを放すと止まります。

・支柱を縮める  
下のレバーを押しながら、支柱を下げると、支柱が収納されます。レバーを放すと止まります。

※支柱は、1,450~2,000mmの間で伸縮します。